

## 普及活動情勢報告（令和元年3月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

### 野菜販売額の向上を目指して！ ～鏡村直販店組合「鏡むらの店」総会～



「鏡むらの店」総会の様子

2月21日に、中山間地域構造改善センターにおいて「鏡むらの店」総会が54名の参加で開催され、これまで普及所運営のチーム会で協議してきた野菜栽培推進の取組方針について、組合長ほか役員から説明がありました。

総会後は、直販所活性化セミナー講師から「販売と経営の現状について」の講演がありました。旧鏡村に縁のある人からの仕入れや集荷事業、店頭での鮮度対策など、有意義な提案を頂きました。

普及所は、来年度は特に野菜販売額アップに向けて関係機関とともにチーム会と取り組んで聞きます。

### 高知県のイタドリ生産拡大に向けて ～高知市鏡地区において苗採取作業を実施～



掘り取りを行う部会員

JA高知市鏡支所イタドリ部会は、2月23日から25日、高知市梅ノ木地区の（農）梅ノ木ファームが管理するほ場において、県内各地に配布するイタドリ苗（根）の掘り取り作業を行いました。普及所も参加し、作業状況や根の生育状況の把握を行いました。

根部の生育が少し悪く、予定より広い面積を掘り取り13,000本の苗を確保し、県下に配布しました。今後、高知市においても植え付けを進め、面積拡大を図っていきます。

普及所では、引き続き生育調査とそれに基づく栽培指導を行い、昨年試験的に行った葉の活用についても、関係機関と連携して取り組めます。

### 県内トマトで初のJGAP認証取得に向けて ～JGAP認証審査の実施～



活発な質疑応答がされた

2月26日と29日に春野でトマトを生産する2法人にて、JGAP認証審査が実施されました。

普及所は、認証審査で求められる書類の作成支援や現場の整理整頓等を指導してきました。当日は審査員の質問に対し、生産者が昨年からの取り組みを書類や口頭で説明しました。今回、初めての取得審査に臨んだ生産者からは「GAPの取組を十分アピールできたが、認証審査以降も継続して取り組みたい」と力強いコメントがありました。

次年度は、他の農家へもGAPの取組を推進するとともに、生産者に一層安心、安全の意識が高まるよう支援していきます。

促成ミョウガの出荷が始まります ～ハウスミョウガ現地検討会～



ハウス外でも意見交換は  
続きました

3月9日、JA高知市大津支部園芸部ハウスミョウガ部会生産者ほ場にて現地検討会が開催され、7名が参加しました。

農業技術センターから講師を迎え、3戸のほ場を巡回し、栽培状況や気になる点を中心に活発な意見交換が行われました。普及所からは、抑制栽培における系統比較試験実証ほの結果について報告しました。生産者からこれからの時期の栽培管理、新系統の特性などについて質問があり、これから始まる出荷に向けて一段と気合いが入っている様子でした。

来年度は促成栽培における新系統の実証試験を行います。今後も生産者やJAなどと連携し、課題解決に向け支援をしていきます。

土佐山のユズ産地でスマート農業を導入に向けて  
～第3回高知市ゆずスマート農業検討協議会の開催～



検討会の様子

3月10日、JA高知市土佐山事業所にて高知市ゆずスマート農業検討協議会の第3回検討会が開催され、10名の協議会員が集まりました。

普及所はスマート農業導入に向けた実証等の支援を行い、三重県での先進事例の視察やせん定講習会と共催したドローンの試験飛行等を報告しました。そして、本年実施した先端機器を活用した、産地営農革新計画を作成しました。

普及所では来年も引き続き、産地営農革新計画に基づくドローン防除やアシストスーツ活用等の活動を支援していきます。